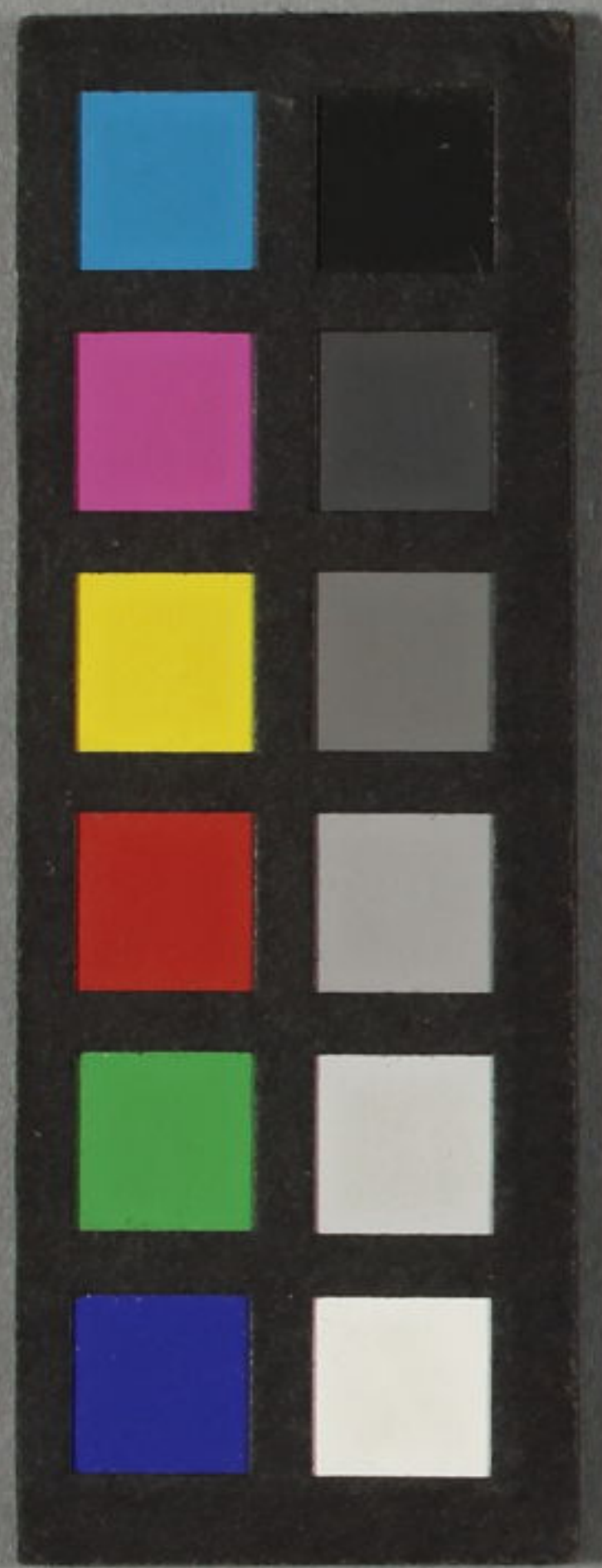


田舎源氏拾



~ 13
3742
10



田舎源氏錦繪

多まの松橋。室町のやまこの夜景。此茶
あつた。ふすの雪。五条の夕立。あまきりしふ
ふせのあつた。所を追くお板仕ひ
歌川國貞画

前北齊為一翁画 江戸島大山往來雙六

柳亭撰

先年より賣ひあめ多く指針。此方けなを板を彫あつて別て紙
指し等精緻に相製す

同翁画 東海道五十三次錦繪

中奉書八ッ切り

是又佳紙をえらりと板彩色を袋入に製し。あきしる所年五等
西のきねのあつた。江戸のあつた。程奉書

考訂大和詞

柳亭校

弄花翁撰

歌舞妓年代記初編拾遺

柳亭種彦編

故馬馬翁の書りたされし事どもとあめ古圖古画をおわくうら
見悉証を引考へを附し

江戸通油町地本書林

仙鶴堂

小林喜右衛門印行

田舎源氏

おせむらさきおるるげん

天保 癸巳 孟春 發行

甲午 正月 表紙 新彫

第十編上冊

柳亭種彦作

仙雀堂梓

歌川國貞画

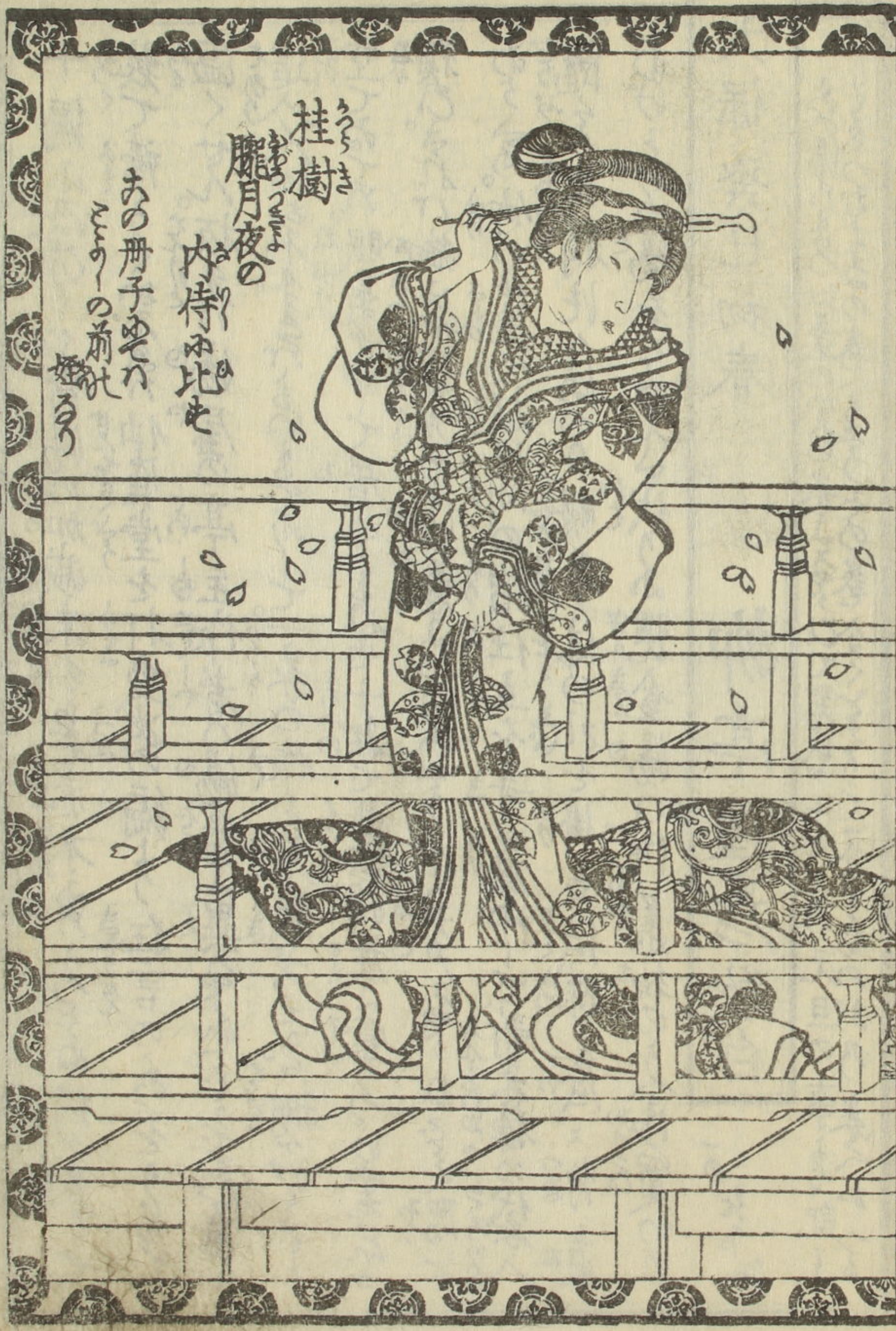


十編下



十編上

仙雀呈梅



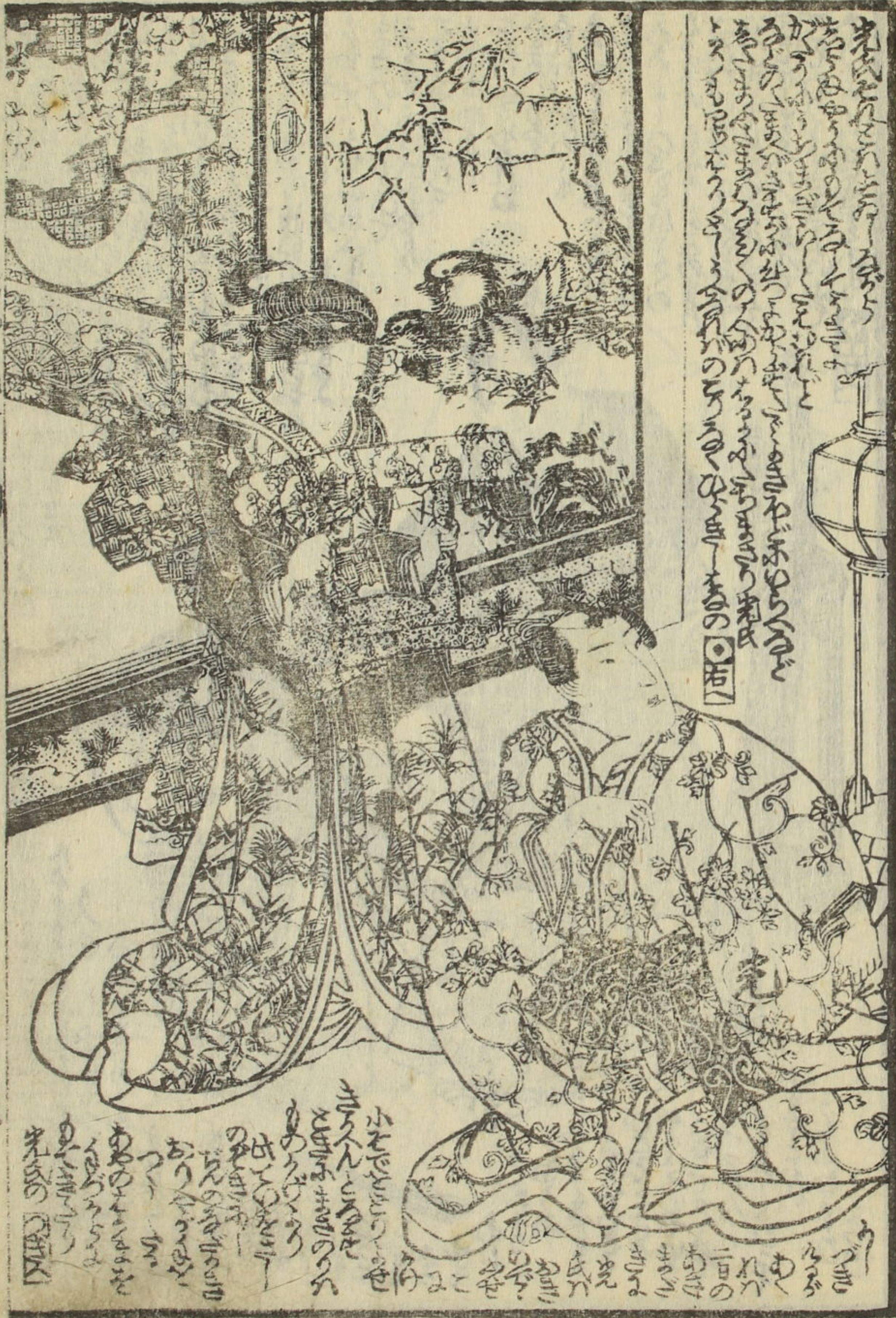
十編め及びび一編の湯の加減未分り赤本ありぬ初が多くて
 熱て積うくおろさ仙雀堂を打め次の編より狂言のあをうめて
 温くせん板元六湯屋の其主作者の湯番は異なる心さうであらう
 這一人がお不きまよのまゝあて一家の作と見識あつても戸棚がうら
 空ておて眠氣あつて居るまゝも十程で運ぶ消炭は當りつはぬ
 預ひされば御客様方の清い意よかりぬと井戸るうらぬも
 わらう。竹の篋で板の間の摺仕立を奇麗ゆて新米糠の袋入
 随分出精はつはつり明年体の札を掛き紙拂底に竹直
 わげといふ場をこそさ代りお現金湯の清い義智のうは買ひ

天保癸巳初春

柳亭種彦敬白

この湯のまの紅葉の巻の巻より先氏が十九女の元旦の事あり記し
 ともつむまの巻へもさうその巻全くとりて又かまのがり巻へかへる

The illustration depicts a traditional Japanese building with multiple levels and a balcony. A person is shown on the roof, and another is on the ground level. The scene is framed by extensive handwritten text in kuzushiji script, which appears to be a commentary or a story related to the scene. The text is arranged in vertical columns, following the contours of the building and the surrounding space.



先づ鳥の鳴き声は
かき鳴らすはなはな
のうたをきかすはなはな
のうたをきかすはなはな
のうたをきかすはなはな

小をきかすはなはな
のうたをきかすはなはな
のうたをきかすはなはな
のうたをきかすはなはな
のうたをきかすはなはな

京十編



先づ鳥の鳴き声は
かき鳴らすはなはな
のうたをきかすはなはな
のうたをきかすはなはな
のうたをきかすはなはな

左のうたをきかすはなはな
のうたをきかすはなはな
のうたをきかすはなはな
のうたをきかすはなはな
のうたをきかすはなはな

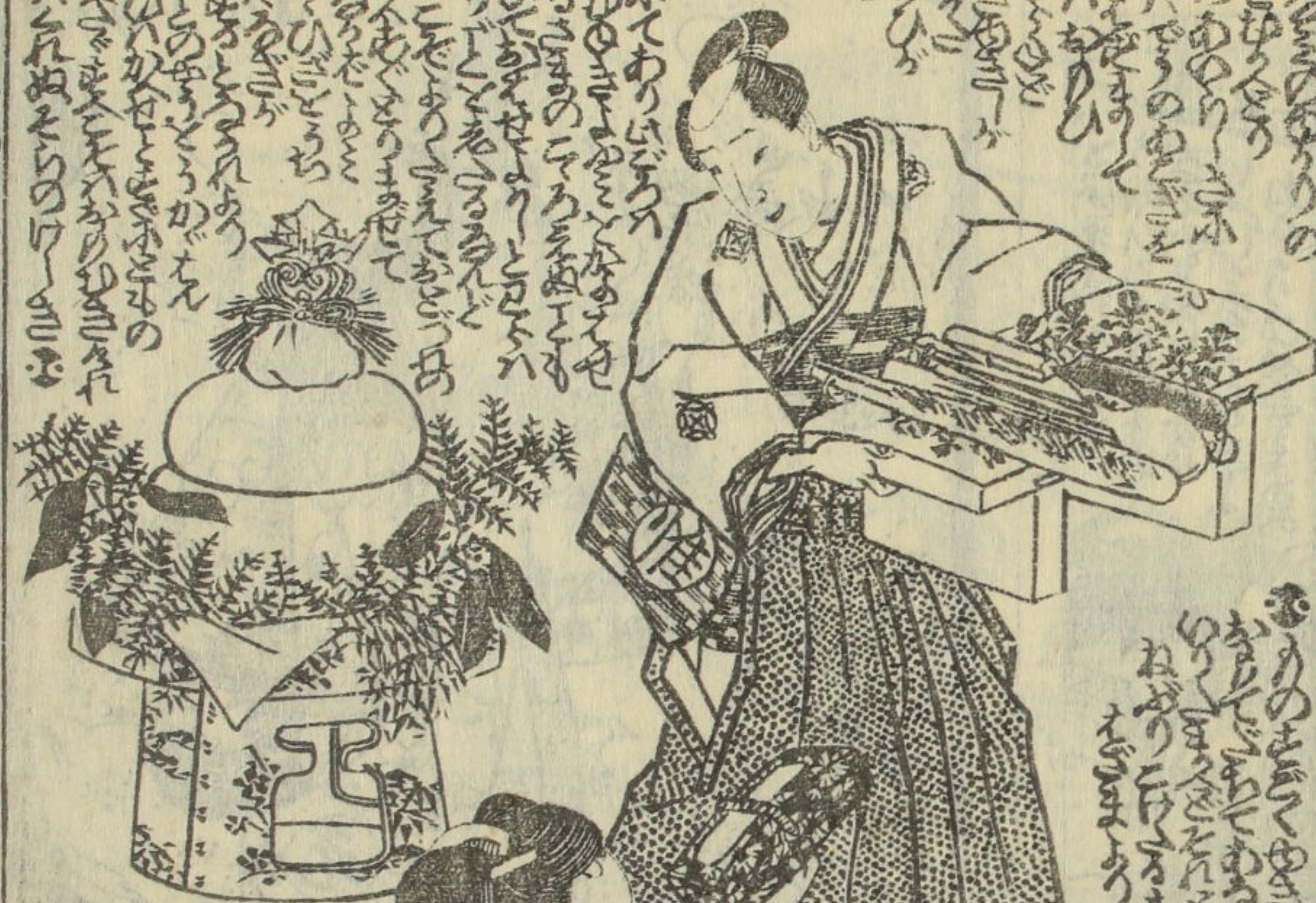
源氏十編

Calligraphic text in vertical columns, likely a list or index of items, located at the top of the right page.



Calligraphic text in vertical columns, likely a list or index of items, located at the bottom of the right page.

Calligraphic text in vertical columns, likely a list or index of items, located at the top of the left page.



Calligraphic text in vertical columns, likely a list or index of items, located at the bottom of the left page.

夕陽の光をうけて
あはれなる御姿
まよふ心も
あはれなる御姿
まよふ心も

あはれなる御姿
まよふ心も
あはれなる御姿
まよふ心も
あはれなる御姿
まよふ心も

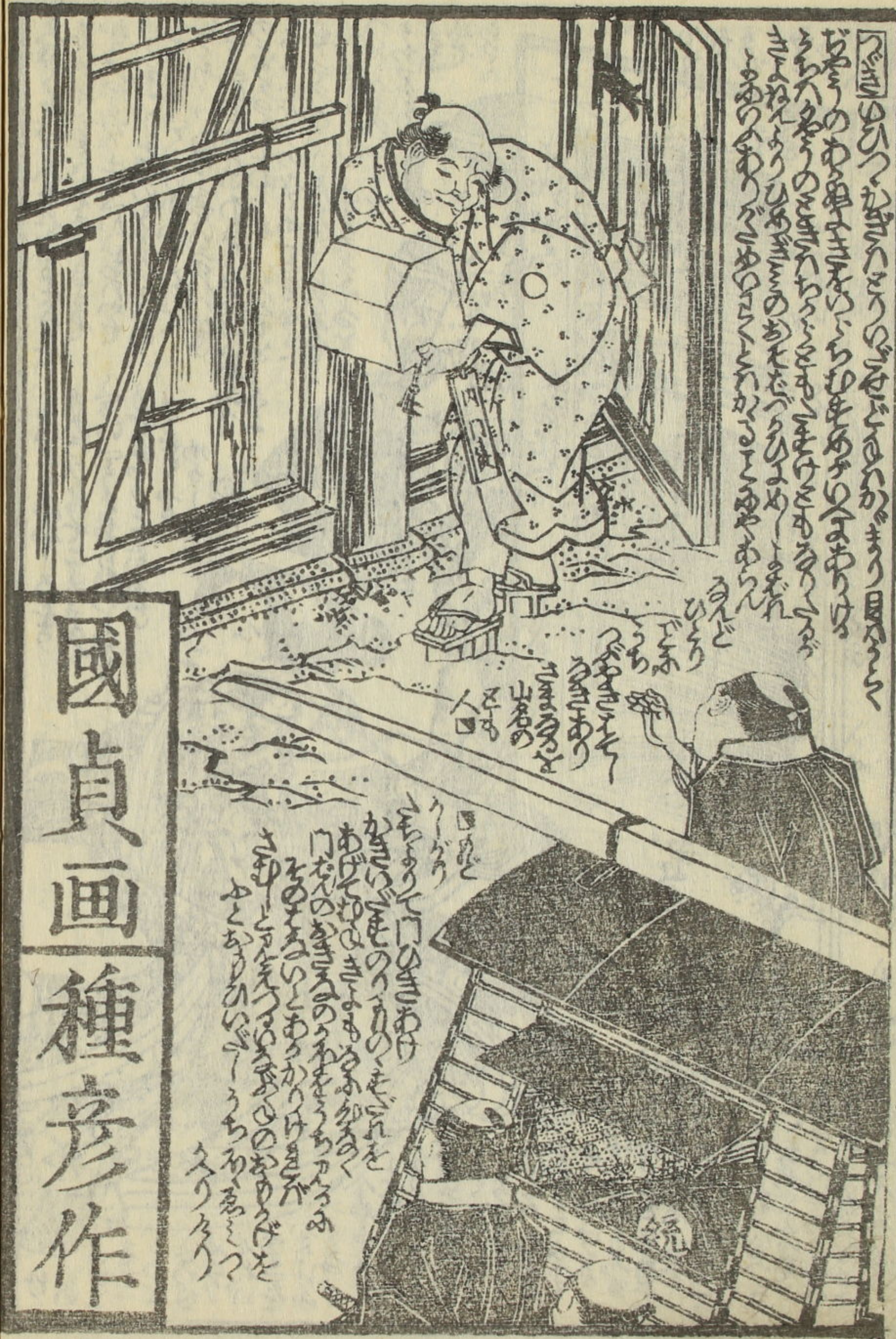


あはれなる御姿
まよふ心も
あはれなる御姿
まよふ心も
あはれなる御姿
まよふ心も



あはれなる御姿
まよふ心も
あはれなる御姿
まよふ心も
あはれなる御姿
まよふ心も

源氏十編の巻の初めに
源氏十編の巻の初めに
源氏十編の巻の初めに
源氏十編の巻の初めに
源氏十編の巻の初めに

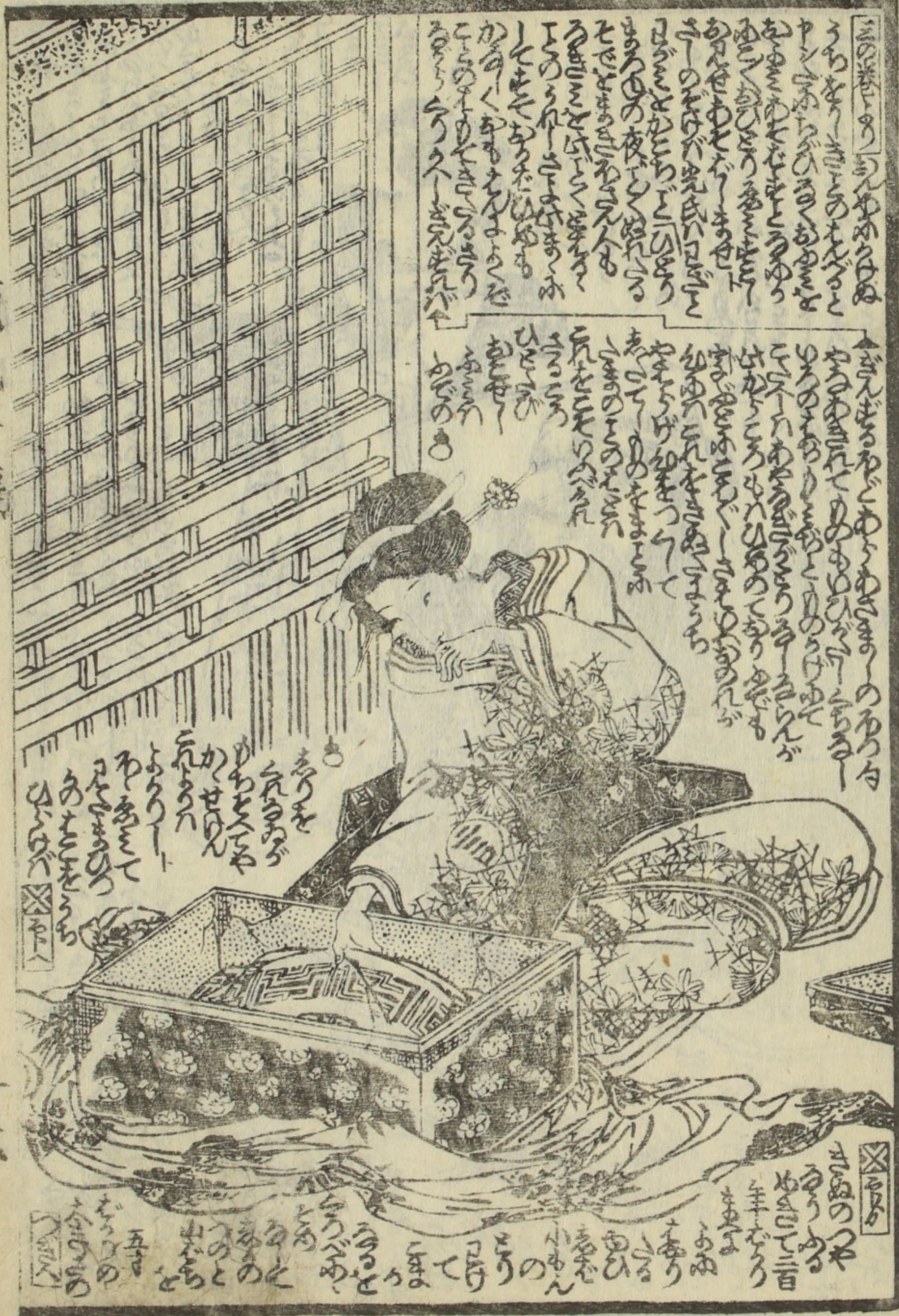


國貞画種彦作

源氏十編の巻の初めに
源氏十編の巻の初めに
源氏十編の巻の初めに
源氏十編の巻の初めに
源氏十編の巻の初めに



源氏十編の巻の初めに
源氏十編の巻の初めに
源氏十編の巻の初めに
源氏十編の巻の初めに
源氏十編の巻の初めに



Vertical Japanese text columns on the left side of the page, likely a preface or introductory text.

Vertical Japanese text columns on the right side of the page, continuing the text from the left.

あつちを
かせり
あつちを
あつちを
あつちを

あつちを
あつちを
あつちを
あつちを
あつちを



Vertical Japanese text columns on the left side of the page, likely a preface or introductory text.

Vertical Japanese text columns on the right side of the page, continuing the text from the left.

あつちを
あつちを
あつちを
あつちを
あつちを



Handwritten text in the top left corner of the right page, likely a chapter or section heading.



Handwritten text in the bottom right corner of the right page, continuing the narrative.

Handwritten text in the top left corner of the left page, continuing the narrative.



Handwritten text in the bottom right corner of the left page, continuing the narrative.

天保六年乙未新春新彫

種彦作
國貞画



柳亭種彦作繪草紙三種

修紫田舎源氏

歌川國貞画
十四編より十七編まで開板仕仕

白間戲言句合 二冊

歌川國芳狂画

浮浪さくら 六冊

歌川貞秀画

枕琴夢之通路 六冊
歌川貞秀画

上州機筆綾織 六冊
上同

井筒の莖子 紫房紋多箱 六冊
歌川貞秀画

さくらび谷入小後さくらし
種彦作書 貞秀画
むら 噺火さくらさくら 二冊
昔はさくらさくらさくら 三冊
さくらさくらさくらさくら 三冊
さくらさくらさくらさくら 二冊

種彦校合

美艶仙女香翠翁
仙女香翠翁
南信馬町
三丁目西側
坂本氏
黒油美玄香翠翁
仙女香翠翁
南信馬町
三丁目西側
坂本氏



書物錦繪
問屋鶴屋喜右衛門
戸通油町

